

あおぞら

千秋病院デイケア

2021年(令和3年)



明けまして、おめでとうございます。

今年も、ご利用者様と一緒に楽しく過ごしたいと思います。
宜しくお願いいたします。令和3年丑年の皆さんです。



(写真掲載に同意頂いている方のみ掲載しています。)

今年も元気に
がんばります！



息を止めて、
ハイ、チーズ



私たちも丑年で～す。

あけましておめでとうございます。長谷川課長
昨年は何かと気苦労が絶えない一年でしたね。
新しい年を迎えることができたことに感謝をしつつ、
デイケアでも可能なかぎり利用者様に楽しんで
いただけるよう工夫をしていきますので、
本年もどうぞよろしくお願いいたします。
私の今年の目標は休肝日を作る事です。

新年の挨拶

明けましておめでとうございます。石井主任
2020年は、コロナの影響で良くも悪くも、新しい考え
や仕組みが沢山生まれ翻弄される1年でしたね。
丑年は、発展の前触れ先を急がず一步一步着実に
物事を進めることが大切な年と言われています。
2021年が少しずつでも良い方向へと進む年になり
ますように。

毎月
の日はイベント場

日	月	火	水	木	金	土
					年1始	休2業
		脳トレ麻雀		脳トレ麻雀		脳トレ麻雀
3	4 営業開始	5	6	7	8	9
10	11 営業 成人の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 /31	25	26	27	28	29	30



あなたにインタビュー

日高久様



私がデイケアに通うきっかけとなったのは、
脳梗塞という病気により半身麻痺となった為です。
一宮市民病院にて1ヶ月程入院しその後リハビリを行なう為木曽川病院に通院して
おりました。
ある程度快復してきた為、木曽川病院を卒業となりましたが、私は「もっと動けるよう
になりたい」と考え ケアマネージャーに相談してみたところ、千秋病院デイケアの評判
が良いとのことでこちらにお世話になっています。
たった1日の体験入所の時にも感じましたが、職員の皆さんの細やかな気配りは
入浴の際に特に感じる事が出来ます。まさに「痒いところにも手が届く」思いで感銘を
受けました。

私はここデイケアでの楽しみが三つあります。まずは美味しい昼食。そして麻雀が
出来る仲間と一緒に、麻雀ができること。そして何よりも「リハビリができること」です。
リハビリは先が長く、良くなっている実感を持ってないこともあり、もどかしく感じる事が
多々あります。でも、親切的な職員さん達が一緒になって悩み考え、寄り添ってくれるの
で、今はリハビリしている時が一番楽しいと思えるようになりました。

今の私の夢は、近くの公園で「犬の散歩ができるようになること」です。

それを必ず叶える為に、デイケアから帰宅した後も、公園での歩行訓練とスクワット
40回は毎日欠かさず行なっています。これからも常に前向きな気持ちを持って頑張っ
ていきます。

リハビリからのひとこと 認知症リハビリについて

作業療法士: 朱宮 奈都子

記憶障害とは？

記憶障害とは、自分の体験した出来事や過去についての記憶が抜け落ちてしまうことをいい、認知症の中核症状のひとつです。自覚のある物忘れとは違い、自覚がなく日常生活に支障がでます。

そもそも記憶とは？

厚生労働省では、関心のあるものを一時的に捕らえる器官である海馬を「イソギンチャク」、重要な情報を頭の中に長期に保存する機能を「記憶の壺」にたとえ、認知症による記憶障害を以下のように説明しています。



記憶障害の種類

短期(即時)記憶障害

今日の日付が分からない、どこに物を置いたか忘れる(いつも探し物をしている)、何度も同じ事を聞くなどの症状が見られるようになります。

長期(近時・遠隔)記憶障害

「祝日の名前」や「自分が通った学校の名前」「自分の職業」についての出来事についても、認知症が進行すると忘れてしまい、最終的には家族の名前や顔も忘れていくなどの症状がみられます。

エピソード(出来事)記憶の障害

学歴や職業など、自分が生活してきたことや体験したこと(エピソード)そのものを忘れてしまう障害です。本人は体験自体が抜け落ちているので、周囲と話が噛み合わなくなります。

意味記憶の障害

ものや言葉の意味を忘れてしまう障害です。「あれ」とか「それ」などの表現が多くなり、意思疎通が難しくなってきます。

手続き記憶の障害

手続き記憶とは、本人が繰り返し学習や練習によって身につけた技術や、無意識のうちに記憶していることです。例えば、自転車に乗る、泳ぐ、スキーを滑る、ピアノを弾くなどです。認知症になっても、比較的体得した記憶は残りやすいと言われています。

記憶障害がでたときの周囲の対応

本人に安心してもらう

記憶障害は、本人に自覚がありません。そのため、度重なる物忘れや記憶が薄れていくことへの不安や焦りから、怒ったり混乱する場合があります。記憶障害で最も不安になるのは本人です。周囲の人は、本人の言動を訂正しがちになりますが、それをすればするほど、本人の不安は高まり逆効果となるでしょう。まずは、本人の言動を笑顔で一旦受け止めて、安心していただくことが対応の第一歩となります。

環境を整える

記憶障害を持つ方にとっては、その事実と共存しながら安心して生活できる環境に整えることが重要となります。規則正しい生活を送るためにも、1日のスケジュールを組みましょう。そのスケジュールを時計の隣に貼るなど、目につきやすいところに貼ると効果的です。また、カレンダーを利用し、予定を書き込みましょう。

デイケアからのお願い

★感染予防対策にご協力ください。

マスクの着用をお願いしていますが、布マスクやウレタンマスクではなく不織布マスクの着用をお願いします。

★お名前のご記入をお願いします。

紛失や間違い防止のため、衣類やタオル・持ち物には必ずお名前をご記入ください。文字が薄くなってしまっている衣服・タオルもございますので今一度ご確認をお願いします。



12月10日クリスマス会を行ないました。



クリスマスケーキを食べる間だけはマスクを外しています。



サンタがプレゼントを運んできたよ♪



うみゃ〜

職員によるトーンチャイム演奏「上を向いて歩こう」



中身は何かしら？



いい音色だなあ〜



うと〜



虹の会ボランティアの皆さまいつもありがとうございます。